

貴重な各地方援護局史を収録。日本近現代史
研究の未開拓分野「海外引揚」の基礎文献。

KINOKUNIYA ON DEMAND SERIES

●シリーズ 戦後処理とアジア 第Ⅱ期●

海外引揚 関係史料集成

[国内篇]

全16巻

■監修・編集 加藤 聖文 国文学研究資料館アーカイブズ研究系助手



ゆまに書房

「大陸」「半島」「南方」……各地からの引揚・復員

そして、送還に関する詳細な記述とデータの宝庫。

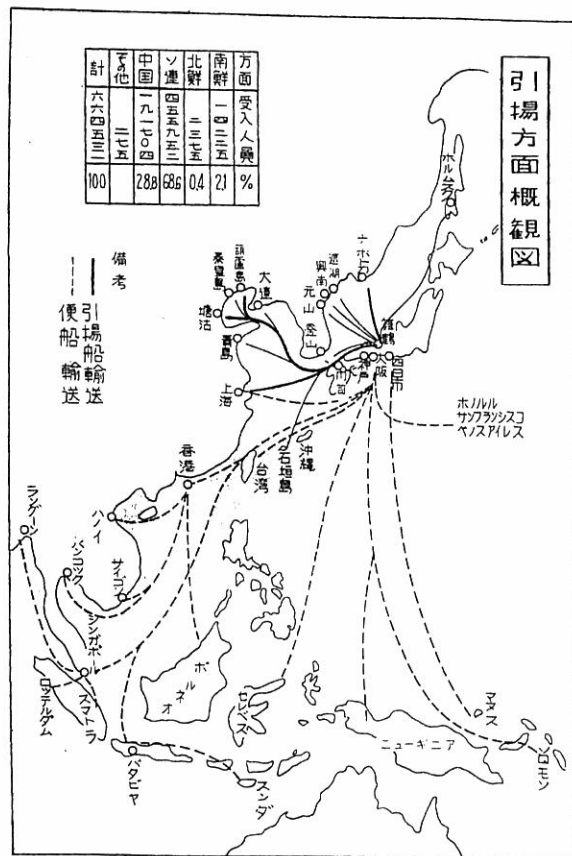
刊行のことば

国文学研究資料館アーカイブズ研究系助手

加藤聖文

我々の一般的な歴史感覚としては、八月一日を境に戦前と戦後が分けられ、あたたかも戦争が完全に終結して、全く別の新しい時代が始まったかのような印象を持つのが普通である。しかし、実際においては、内地と旧外地（植民地）とは全く異なる八月一日を迎えたのであり、内地では新しい時代の始まりと捉えたのに対して、旧外地では新時代の到来ではなく、戦前の「清算」が始まったにすぎず、内地の日本人と旧外地の日本人との間には既に戦後のスタート時点から越えがたい大きく深い溝が存在していた。こうした日本人間の意識ギャップは戦後復興の中に埋没し、引揚問題は関係者の体験談のかたちで語り継がれるのみとなった。しかし、戦後において引揚問題が一般の日本人の奥底に沈殿し、社会に埋没していったことは、そもそも何故に引揚者が発生したのかを深く考える機会を奪い、多くの日本人が、戦前の日本は広大な植民地を擁する「帝国」であったことを看過する結果をもたらした。こうした事態は近年の歴史認識をめぐる諸外国との摩擦を生み出す一つの要因ともなったと考えられる。

また、戦後歴史学においても引揚問題に対する関心は低かった。これは引揚問題が米ソ冷戦構造の影響により現実の政治問題と密接不可分であったことが大きく影響していた。しかしながら、近年引揚問題への注目は徐々に高まりつつあり、今後はより活発な研究が期待される分野でもある。ただし、歴史学研究にとって不可欠な引揚問題に関する史料は決して多いとはいえず、また史料に関する情報も不足しているのが現状である。このような環境を少しでも前進させることを目的として、編者がこれまでに全国各地で収集してきた史料のうちの一部を史料集として刊行することを企図し、今回ゆまに書房によって刊行することが可能となった。



県名	石川	愛媛	高知	大分	大坂	徳島	熊本	宮崎	鹿児島	計
六月	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
七月	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
八月	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
計	3	3	3	3	3	3	3	3	3	27

の県別引揚人員。手作りの貴重な統計。(仙崎)

▲本図表を見るだけでも引揚という事業の大きさがわかる。(舞鶴)

☆各巻の構成

*表示価格は外税です

- 第1巻：函館引揚援護局史（函館引揚援護局1950年2月）
22,000円 ISBN4-87802-069-5

- 第2巻：浦賀引揚援護局史（上）（浦賀引揚援護局1947年）
21,000円 ISBN4-87802-070-9

- 第3巻：浦賀引揚援護局史（下）（浦賀引揚援護局1947年）
21,000円 ISBN4-87802-071-7

- 第4巻：舞鶴地方引揚援護局史（厚生省引揚援護局1961年3月）
28,000円 ISBN4-87802-072-5

- 第5巻：局史（田辺引揚援護局1946年9月）
13,000円 ISBN4-87802-073-3

- 第6巻：局史（宇品引揚援護局1947年12月）
22,000円 ISBN4-87802-074-1

- 第7巻：援護局史（宇品引揚援護局大竹出張所・年不詳）
18,000円 ISBN4-87802-075-X

- 第8巻：仙崎引揚援護局史（仙崎引揚援護局1946年12月）
17,000円 ISBN4-87802-076-8

- 第9巻：局史（博多引揚援護局局史係1947年9月）／地方引揚援護局史（博多引揚援護局戸畑出張所・年不詳）
18,000円 ISBN4-87802-077-6

- 第10巻：佐世保引揚援護局史（上巻）（佐世保引揚援護局1949年3月）／佐世保引揚援護局史（下巻）（佐世保引揚援護局1951年3月）
22,000円 ISBN4-87802-078-4

- 第11巻：局史（鹿児島引揚援護局1947年）
17,000円 ISBN4-87802-079-2

- 第12巻：引揚検疫史第1巻（引揚援護院検疫局1952年）／引揚検疫史第2巻（引揚援護院検疫局1952年）／引揚検疫史第3巻（引揚援護庁1952年）
21,000円 ISBN4-87802-080-6

- 第13巻：恩賜財団同胞援護会会史（上）（恩賜財団同胞援護会1960年）
21,000円 ISBN4-87802-081-4

- 第14巻：恩賜財団同胞援護会会史（下）（恩賜財団同胞援護会1960年）
22,000円 ISBN4-87802-082-2

- 第15巻：国内引揚関係諸史料 21,000円 ISBN4-87802-083-0
「在外同胞援護会事業誌」／在外同胞援護会「在外同胞援護会現況及計画概要」／同胞援護会「生活保護法と同胞援護」／文部省「帰還者必携」／大分県民生部社会課「引揚者の乗」／広島県「生活再建と県内事情」／引揚援護院「引揚指導員用引揚者便覧」

- 第16巻：引揚者 留守家族のための生活読本（東京都在外同胞帰還促進留守家族連盟1950年12月）
16,000円 ISBN4-87802-084-9

本史料集の刊行を決断したゆえに書房に深く感謝するとともに、本史料集の刊行を先駆けとして今後の引揚問題研究が発展することを願ってやまない。

●編集にあたって

- 1、本史料集は海外引揚に関する史料のうち、各引揚援護局史を中心にそのほか引揚援護団体に関するものや行政機関作成の引揚者や留守家族への生活指導書などを加えて、「国内篇」としてまとめ、「シリーズ戦後処理とアジア」第Ⅱ期とした。
- 2、海外引揚については旧植民地や大陸を中心とした海外各地における史料があり、在外財産問題の記録もある。これを「国外篇・在外財産篇」としてまとめ、引き続き刊行の予定である。
- 3、本史料集に収録した原史料の多くは、ガリ印刷であり紙質も悪く、用紙・印刷とも劣化が激しい。原史料をそのままの提供するという方針に従い、復刻作業は慎重に行ったが、読み難い部分もある。
- 4、なお、編集の都合上判型を適宜縮小した。

第一章 沿革

一 沿革概要

大東亞戦争の終結に伴い、激戦を繰り、同胞人及び中華系同胞人は、凄多港を目標として一時に散開した。福岡県内にも散開し、九月五日博多港埠頭に近しい云雀川畔岸に日本赤十字会福岡支部を開設し、民生課を中心として同胞援護生會及び中華衛生會博多支店等として之等同胞人の衣食、給食、及び衣類給付に着手し、又中華系同胞人に対しは之等備後としてその世話に當らしめた。又一方外地に散開した同胞人にも漸次訪問して其の之等引揚者人に就ては福岡県厚生課を中心として九月初旬より、船乗入れの程度、探訪と博多港に於て給食給付及び衣類給付に努めた。尚内地より朝鮮に設置する復員軍人支隊及び朝鮮方面より、内地に返還する軍人軍属の復員者中、陸軍関係は博多埠頭各地に、海軍関係は福岡地方に、朝鮮人支隊は、未だ給食に努めて来たが、十月初旬に進駐して来た米軍の意向と勘案の上、福岡県に於ては、朝鮮人支隊の爲に、十月三日民生課事務所を博多埠頭内に移し、地頭倉庫を朝鮮人宿舎に充て、引揚者人に就ては、十月十五日厚生課事務所を大分国民学校に開設し、併せて戦災救済全福岡支店として、引揚援護所を設置した。

一方、博多は、十月五日九州上陸支隊と福岡市吉町に設置し（十月五日落成改正福岡上陸支隊と改称）一福岡県連立内に事務所を開設し、九月十日より一昼夜に於て来た朝鮮軍運送班、先島列島連立支隊、朝鮮軍運送班、並に支那派遣復員軍人部隊博多港埠頭等と接近し、復員者に對する復員支隊、宿舎、給食、靴運送等の業務を開始した。

徳島	徳島	徳島	徳島	徳島	徳島	徳島	徳島	徳島	徳島
男	男	男	男	男	男	男	男	男	男
女	女	女	女	女	女	女	女	女	女
男	男	男	男	男	男	男	男	男	男
女	女	女	女	女	女	女	女	女	女
男	男	男	男	男	男	男	男	男	男
女	女	女	女	女	女	女	女	女	女
男	男	男	男	男	男	男	男	男	男
女	女	女	女	女	女	女	女	女	女
男	男	男	男	男	男	男	男	男	男
女	女	女	女	女	女	女	女	女	女
男	男	男	男	男	男	男	男	男	男
女	女	女	女	女	女	女	女	女	女
男	男	男	男	男	男	男	男	男	男
女	女	女	女	女	女	女	女	女	女
男	男	男	男	男	男	男	男	男	男
女	女	女	女	女	女	女	女	女	女

▲多くはこのような謄写版印刷である。（博多）

▲満州国開拓

KINOKUNIYA ON DEMAND SERIES

●シリーズ 戦後処理とアジア 第Ⅱ期●

海外引揚 関係史料集成

[国内篇] 全16巻

■監修・編集 加藤聖文 国文学研究資料館アーカイブズ研究系助手

A5判・上製クロス装 ISBN4-87802-085-7 C3321

●全16巻揃定価:本体320,000円+税

KINOKUNIYA ON DEMAND SERIESのご案内

■シリーズ 戦後処理とアジア・第Ⅰ期

日本人の海外活動に関する歴史的調査

[監修] 小林英夫 全23巻●揃定価:本体468,000円+税
敗戦直後の日本(政府)はどのような認識でアジアを捉えていたのか。戦後日本とアジアの関わりを考える上で極めて重要かつ不可欠の史料。

■シリーズ 戦後処理とアジア・第Ⅱ期 第2回

海外引揚関係史料集成 国外篇・補遺篇

全19巻CD-ROM2枚 ●揃定価:本体486,000円+税
[監修・編集] 加藤聖文 敗戦から引揚までのアジア各地における日本人の動向を跡付ける貴重史料と、在外財産問題に関する史料を集成する。

秘 大正三年日独戦史 全4巻・別巻2巻・CD-ROM1枚

[監修・解説] 斎藤聖二●揃定価:本体150,000円+税
日本が、開戦から戦後処理まで世界情勢の影響下に置かれ、また近代戦争をくりひろげた第一次大戦日独青島戦争の正史を復刻。別巻には詳細な解説と写真帖を収録。

ゆまに書房 関連企画のご案内

戦後アジアにおける日本人団体

[編] 小林英夫/柴田善雅/吉田千之輔

●定価:本体4,800円+税 2008年1月刊行予定
引揚げから企業進出まで、戦後アジアと日本との関係に大きな意義を持つ諸団体の活動を記述分析。戦後アジアと日本との経済・外交関係の研究に新しい視点を提示する。

本書の特色

- ①海外引揚問題に関する本格的史料集としては初の試み。
- ②この史料集によってこれまで未開拓分野であった海外引揚研究が注目されるであろう。
- ③各地方引揚援護局の史料は、製作部数も限られており、所蔵機関が全国に散在しているため、入手が難しかったが、今回初めてこれを集成した。
- ⑤戦後史・東アジア史研究のほか、社会事業関係の研究、社会学研究、地方史研究、軍事史、さらには女性史や社会医療、教育史などの諸分野にとっても重要な史料である。
- ⑥各地方引揚援護局は「引揚」ばかりでなく戦地からの将兵の「復員」、そして中国人・朝鮮人の「送還」の窓口となっており、本史料集はその精細なデータを含んでいる。また、米軍の軍政下に入った沖縄の出身者についても同様である。
- ⑦地方自治体の厚生事業と今なお密接に関係しているため、自治体にとっても必須の資料である。
- ⑧既刊の『台湾引揚・留用記録』は本史料集の補完の役割を持つ史料であり、あわせて利用されたい。

★本書をおすすめしたい方

日本近現代史、植民地史、東アジア史、国際関係史、軍事史、社会事業史、医療史、女性史等の研究機関及び研究者。大学図書館など。

ON
KINOKUNIYA
ON DEMAND
SERIES

※オンデマンド出版のため、ご注文から約1ヶ月の製作期間が必要となる場合がございます。

●発行

株式会社 **ゆまに書房**

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-6
Tel. 03 (5296) 0491 Fax. 03 (5296) 0493

●発売

株式会社 **紀伊國屋書店** ホールセール部

取扱店